

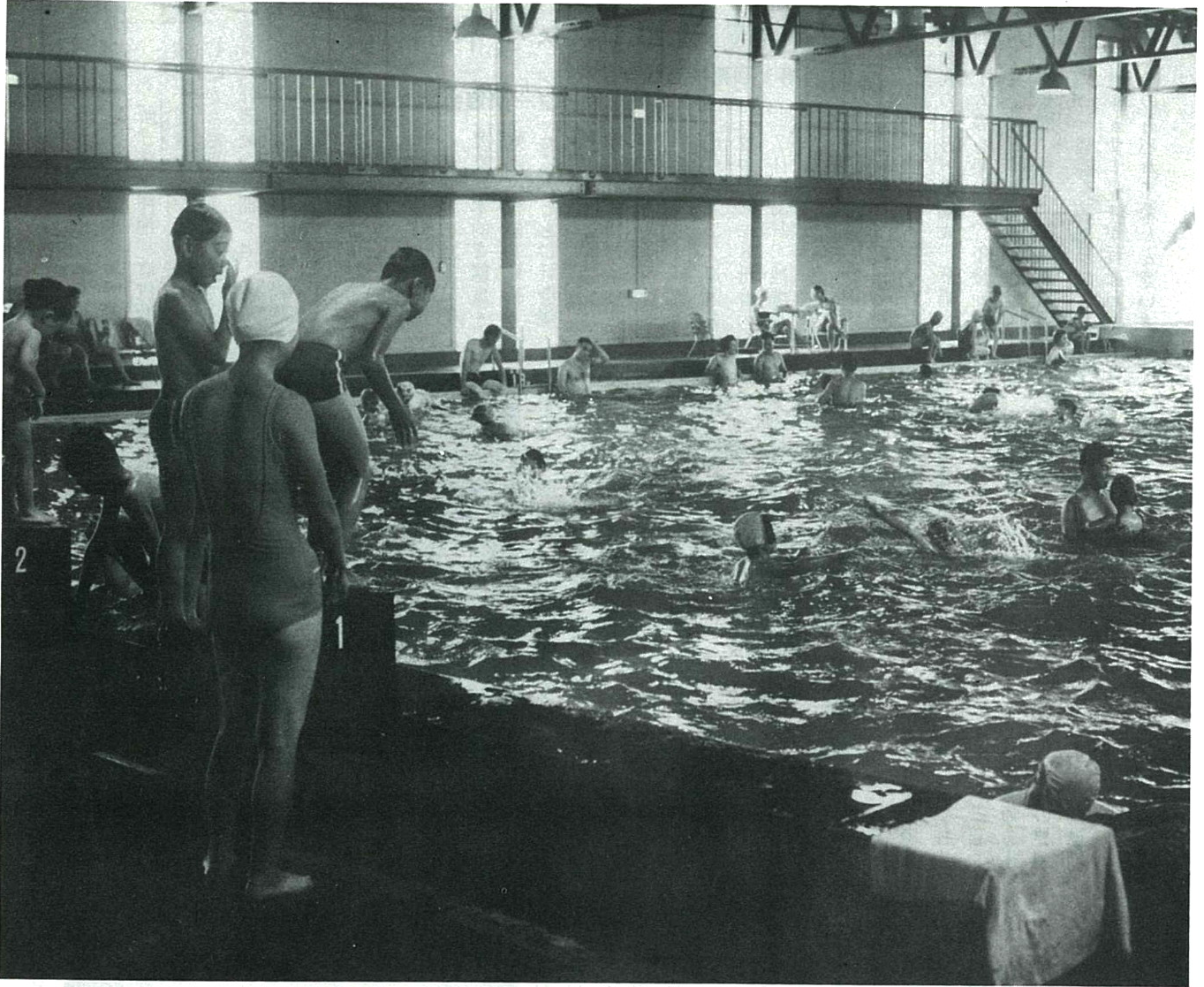
広 報



まくべつ

49・8・15

発行 幕別町役場 / 編集 町民課広報係 / 電話④2111番 / 印刷 大同出版(株)



連日賑わう

温水プール

赤・黄・青・黒……目のさめる

ような色とりどりの水着が、浅い
ところ、深いところで跳ね、踊る。

今日は、お父さん、お母さんに
つきそわれて泳ぎの練習……泳げ
るようになったと喜ぶ顔。

二人、三人と集った良い子たち
で温水プールはあふれ、東京の銀
座を思わせる賑わい。

泳ぎが好きでたまらない元気な
子らは、残り少ない夏休みを楽し
んでいる。

楽しい夏休みもあと僅か、元氣
に遊び、そして宿題もしっかりや
ろう。

子どもたちで賑わう幕別温水プール

友好町の議員ら来町

公共施設など視察

放浪の歌人・若山牧水が縁で宮崎県の東郷町と友好町として提携2月に盟約書の調印式が行なわれてから、はや7ヶ月が過ぎ去り7月14日議会議員（三浦治郎吉議長）中田収入役ら17名が来町、その日は温泉ホテルで旅の疲れを癒され翌日早朝から札内地区の公共施設である温水プール・札内統合中学校々舎・福祉センターなどを視察され、役場庁舎を見学したあと、5階議場にて理事者・議員が参加

して町旗の交換式・行政説明会・昼食会が行なわれ、午後から幕別地区の農協馬鈴薯貯蔵所、住宅団地、育成牧場、猿別ヘイキューブなどを視察し、17時から温泉ホテルに於て両町議員友好親睦会が開かれ、なごやかな宴会の席上、お互いの親睦を深めました。

子ども会、スポーツ少年団体などジュニア・リーダーに対して任務の遂行に必要な基本的な態度・知識・技能を修得させるとともに社会規律を身につけ、主体性のある団体活動を行なうため、町教育委員会主催、町青年ボランティア連盟共賛のもとに8月6・7日の両日、地域子ども会、スポーツ少年団約80名（54団体）が参加して町民会館

有意義に夏休みを利用

第1回幕別町少年団体 ジュニア・リーダー研修会開かる

子ども会、スポーツ少年団体などジュニア・リーダーに対して任務の遂行に必要な基本的な態度・知識・技能を修得させるとともに社会規律を身につけ、主体性のある団体活動を行なうため、町教育委員会主催、町青年ボランティア連盟共賛のもとに8月6・7日の両日、地域子ども会、スポーツ少年団約80名（54団体）が参加して町民会館

で開かれました。

開会式のあと、班編成、歌唱、室内ゲーム等を楽しみ、午後から町教委社会教育主事の講義、軽スポーツの実技、また、夜には、子どもたちが一番楽しみにしていたキャンドル・サービスが行なわれたのたつのも忘れて楽しんでいました。

熱心に勉強することもたち



西瓜割を楽しむこともたち



翌日、6時起床、清掃、自由行動、その後、また講義、前夜の疲れがでたのかみんな元気がない。講義のあと、スポーツ交換会が行なわれ、元気をとりもどし、飛び廻っていました。

最後に、反省と評価が行なわれましたが、また来年も開いてほしい、大変なためになった、とてもおもしろかった……など沢山の意見がだされ、この2日間事故もなく有意義な研修会でした。

スピード狂を絶滅

町道 明野・旭町線が交通規制

交通事故は依然として発生件数死者と増加を示し、町内の事故も外来者の事故がとくに多く発生しています。先日旭町の町道で、人身事故が2件発生し、老人子どもが傷ついています。幸いにも大事にならずに済みましたが、これもスピードの出すぎからであります。

町では、これに対処するために

帯広警察署と協議し、7月13日から町道明野・旭町線道路の交通規制をしております。

この道路は、池田方面への旧国道で、交通量も多く、最近旭町団地に公営住宅、一般住宅が建設され、約3百戸の住宅が建ち並らびそこを通る車も大型化しており住民からの要望がだされておりました。規制標識がたてられてからは今までのようなスピード狂がいなくなりましと大変よろこんでおります。

ゆっくり走ろう北海道

帯広地区交通緊急対策合同本部の設置（7月30日）

.....●輪禍死全道一に歯止め●.....

全道一異常な大型輪禍が続いている帯広地区に岩見沢地区に次いで道警本部釧路方面本部、帯広警察署の合同本部を設置し、帯広市を拠点とする5町2村に波及させる「大関所」として死亡交通事故抑止活動を強力に展開する。



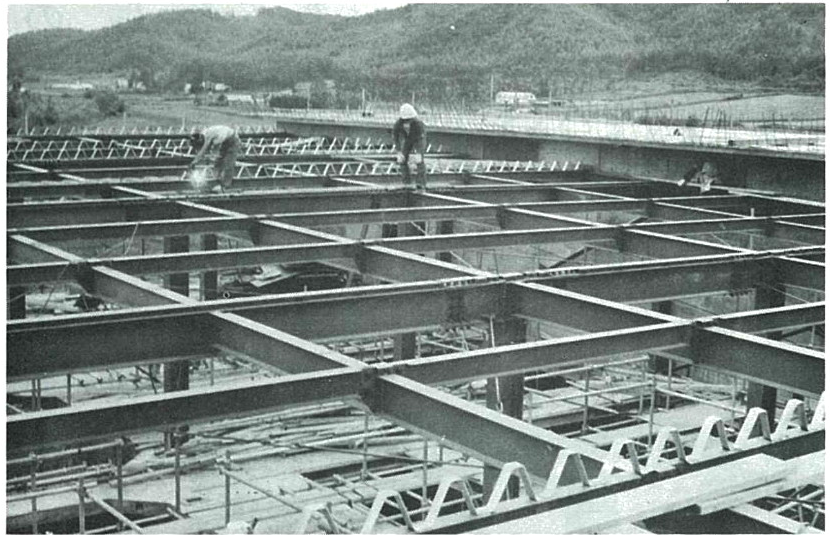
豊岡の高台に貯水池が建設されていますが、常時2万2千トンの水を貯水して、配水されます。

幕別上水道第1 拡張工事もたけなわ

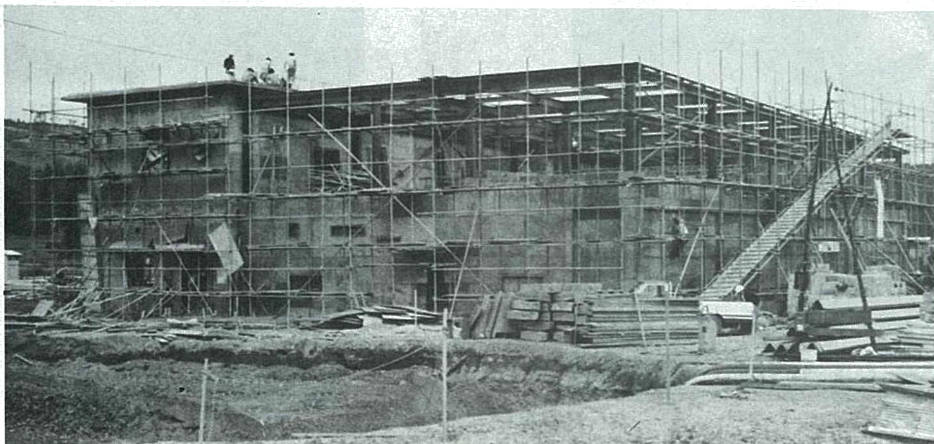
工事も順調に進行中

着手された貯水池

昭和52年を完成目標に5ヶ年継続で幕別上水道第1次拡張事業が行なわれておりますが、上部工事も順調に進み先月から取りかかっております貯水池も順調に進行中。以下数葉の写真で、工事風景をお知らせします。



鉄骨で組み立てられた上部も、鉄筋コンクリート及び鉄骨造り。30度をこす酷暑の中で働く作業員たち。



浄水場本館の下部も出来あがり上部もまもなく完成をみ、来月末から内装と機械の取り付け、工事も急ピッチで進められます。

完成は50年の春

終末処理場着工

近年、我国の人口の都市集中化に伴い、河川は著しく汚染をきたし環境衛生面において公害問題が大きくクローズアップされており、幕別町が国の水田転換政策に基づき、あかしや南団地宅地造成事業を実施するにあたり、それに伴う下水道終末処理場建設の起工式が7月20日町長・議長・関係者が出席のもとに行なわれました。あかしや南団地造成事業により本地域には公営住宅・分譲住宅・教員住宅・一般住宅など約5百戸が建設され、2千人収容する大

型の住宅団地となります。水洗便所汚水と厨房排水、浴水、洗濯水などを含めた生活污水を管渠で汚水処理場に

集め「活性汚泥法」による高級処理がなされます。その処理工程は大きく分けて、Ⅰ予備処理 Ⅱ生物化学的処理 Ⅲ汚泥処理の3段階に分けられます。これらの処理水を水中汚水ポンプにて揚水し、排水溝より途別川に放流されます。この工事が幕別町における下水道事業としては最初の工事であり、本年中には全町的な下水道事業計画の計画決定を受け、幕別・札内両市街の公共下水道整備を推進しつつありますことを併せてお知らせいたします。



上は起工式で町長の鍬入



下は工事現場の標示



ぼくが一番…西瓜のたねとばし競走

大平洋の波でたわむれる子どもたち

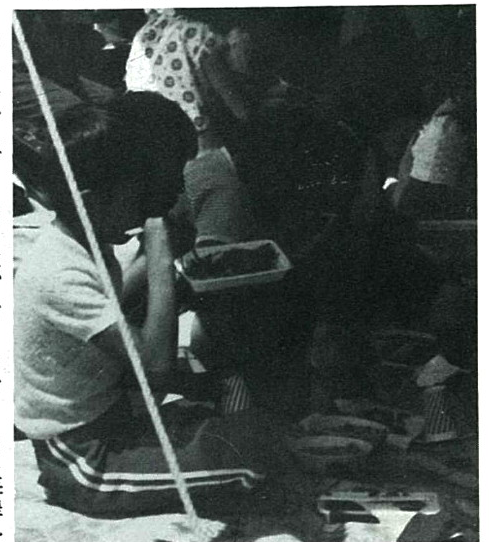
恒例となった「一日お父さん」

幕別町・町社会福祉協議会主催による「一日お父さん」が8月4日厚内海岸で開かれました。

この日の参加者は、片親または両親のいない子どもたち45名で2台のバスで一路厚内へ。一日お父さんの日は、このような子どもたちを激励し、元気な良い子になつてもらおうと開かれたもので、親子リレーなど盛りたたくさんのプログラムに子どもたちは大喜びでした。

一日お父さん、お母さんは社協役員・民生委員・商工青年会・母子会の方々50名。各種のゲームのあと楽しい昼食の時間。商工青年会の皆さんの奉仕による豚汁の接待を受け、食後には西瓜割の競技を行いました。この日の厚内海岸は、この良い子たちが来るのを待っていたかのような晴天、波もおだ

楽しい昼食



やかで、子どもたちは、おもしろい海岸を走り廻ったり、砂遊びなど、楽しい一日を過ごしました。



子どもたちも西瓜割でハッスル

みんなの広場

まちの話題

きれいな街づくりに一役

色さい豊かな花壇

錦町公区が造る

錦町の生活環境を美しくしようと7月27日直径5メートルはある大きな花壇が同公区の一部にお目見えし住民から大変よろこばれております。これは錦町公区（早津健次郎公区長）が町の推進する環境美化運動に呼応し、奉仕して出来あがったものです。

この日、公区の有志が総出でブロッコを積み上げ、季節の花々が植え込まれ、赤、黄、紫と色さい豊かな花が通行人を楽しませてくれます。



公区のみなさんの手で造られた花壇

糠内老友会が 草刈の勤労奉仕

北海道自然保護地区として指定されております糠内地域町有林の桜植栽地下草刈を糠内老友会（山崎外次郎会長）会員28人が集まり今年2回目の草刈を7月5日に行ない汗を流しました。

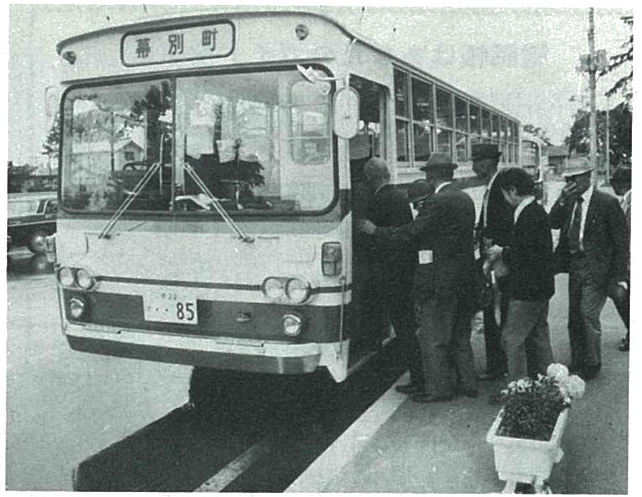
この桜（約80本）は昭和45年に植栽され、糠内老友会のみなさんが今年までの4年間休むことなく草刈を実施し地域住民から感謝されております。

この地域はカシワの大径木が残存し、その周辺にはツツジが群生しており、又附近に湧水も豊富で住民の憩の場として利用されております。



草刈にいそしむ老友会の人たち

「福祉バス」は、お年寄り送迎に大活躍



細心の注意がはらわれた室内 待望の「福祉バス」到着

お年寄りの待望の「福祉バス」が近く本格的な運行の運びとなり、補助ステップも付け、車内の通路も広く、補助いすを除いて全部リクライニングシートなど細心の注意がはらわれています。

町では、さっそく、9日に老人クラブ代表や母子会長など34人を試乗会に招き、札内消防庁舎前を出発したバスは、運行後停留所になる予定の相川小、役場、糠内公民館などを順々に廻って温泉ホテルまで。

温泉行きの運行は8月から始めておりますが、町内を東西の二地区に分け、それぞれの地区を月3

消費者相談を開始

どんなことでも、気軽に

幕別消費者協会（小沢和枝会長）が昨年12月に発足し、活発な活動が続けておりますが、7月25日理

回ぐらい定期的に運行されます。「福祉バス」の到着により、温泉まで数十キロもある駒島・古舞地区など、町内奥地帯のお年寄りたちも手軽に温泉に行くことができ、また、今後町外視察、研修なども積極的に利用されることになり、他市町村の老人クラブや社会福祉団体の交流にもひと役買うものと期待されています。

事が開かれ、当面する活動方針が決められました。

最近、消費者の間で、商品に対する品質、量目などについての疑問や苦情の声が増えるため、苦情処理の窓口となる消費相談業務を開始することになりました。相談日は毎月第一、第三月曜日とし役場一階受付横の町民相談室を利用され、相談員は会員の中から小沢会長と監事の飯島尚子さんの2人が選任され、どちらかが都合で出られない場合のために豊田満代さんが補助員となってみなさんの苦情、要望などをお聞きします。

協会も消費者の声を迅速に処理し、解決に努力しようと役員一同が張切っております。